

第60回 学術研究論文発表会プログラム

第2日目 11月15日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:20	<p>神山 藍(東洋大学)</p> <p>1. フランクフルト市の高層建築都市への歴史的展開と「高層建築発展計画 2024」による高層建築街の再構築 兵庫県立大学 太田 尚孝</p> <p>2. イギリスの文化財会計制度における文化財の価値認識と運用実態 東京科学大学 山本 真紗子</p> <p>10:00</p> <p>永瀬 節治(和歌山大学)</p> <p>3. 建築・都市分野におけるポスト人間中心主義的マテリアリズムの理論的潮流 東京大学 新 雄太</p> <p>4. 「まちを見る感性」を育むまち歩きプログラムの開発と評価 富山大学 安倍 ひより</p>	<p>菅野 圭祐(筑波大学)</p> <p>12. 東日本大震災後の小規模防災集団移転団地造成集落の居住実態に関する研究 大成建設株式会社 吉田 萌花</p> <p>13. 地方都市の都市再生に向けた容積率緩和制度の有効性に関する研究 千葉大学大学院 内田 祐一郎</p> <p>10:00</p> <p>田中 健一(慶應義塾大学)</p> <p>14. 「継続・復帰・中止・新規」に着目した訪問型関係人口の実態 筑波大学 山淵 智也</p> <p>15. 主要通勤交通手段別にみた退勤時立ち寄り行動と休日外出行動の関連 独立行政法人都市再生機構 出崎 貴仁</p>	<p>石神 孝裕((一財)計量計画研究所)</p> <p>24. OD パターンから考える立地適正化計画の現状と課題 筑波大学大学院 室岡 太一</p> <p>25. 用途地域に着目した居住誘導区域の境界設定とその内外隣接エリアにおける地価への因果的影響 京都大学大学院 川野 裕司</p> <p>26. 洋上風力発電に伴う地域共生基金をめぐる当事者の制度的正当性 経済産業省 小林 寛</p> <p>10:20</p> <p>福田 峻(九州大学)</p> <p>27. まちづくりにおけるプロスポーツの位置付けと課題解決に向けた取り組みの実態に関する研究 東京建物株式会社 高橋 俊哉</p>	<p>後藤 純(東海大学)</p> <p>35. 子どもの生活行動にみる体験格差の構造 筑波大学 松浦 海斗</p> <p>36. デンマーク計画法 2017 年改正で導入されたコンバージョンビレッジ制度の課題と効果の検証 岐阜工業高等専門学校 鶴田 佳子</p> <p>37. 社会変化に対応した行政計画と市民参加の関係性に基づく施策展開 日本福祉大学 吉村 輝彦</p> <p>38. 岐阜県飛騨市におけるライフスタイル移住者の地域コミュニティへの適応プロセスとその要因 無所属 森島 明日香</p>	<p>吉田 樹(福島大学)</p> <p>47. 全線新設 LRT の開業時からの本源需要の変化に関する研究 早稲田大学大学院 富岡 秀虎</p> <p>48. バス停の利用圏域拡大に向けた検討 信州大学 戸塚 健太</p> <p>49. バスターミナルで乗降する高速バス利用者の滞在行動に関する研究 株式会社三菱地所設計 杉山 鍊</p> <p>50. 交通系 IC カードデータを用いた COVID-19 による地方都市の都心部における滞在時間の変化 香川高等専門学校 宮崎 耕輔</p>
10:40	休 憩				
10:50	<p>劉 一辰(宮崎大学)</p> <p>5. 吉田正春使節団が見た 19 世紀テヘラン都市改造 筑波大学 松原 康介</p> <p>6. シティ・ポップにおける「シティ」のイメージ 東京大学 近藤 拓夢</p> <p>11:30</p> <p>渡部 典大(北海道大学)</p> <p>7. 大規模開発従前従後の来訪パターンからみた周辺地域における回遊行動の変化に関する研究 東京大学 天谷 太一</p> <p>8. 滞留を伴う散策行動が発生しやすい都市環境の特性 (株)三菱総合研究所 角南 萌々子</p>	<p>鈴木 達也(香川大学)</p> <p>16. 機能バランスに着目した都市活動拠点の統合的検出に向けたフレームワーク 東京科学大学 ボラティンスキー バディム</p> <p>17. 緑地管理不全と並木倒景との関係 筑波大学 任 伊晗</p> <p>18. 歩行による健康効果に着目した 2 次元空間の都市施設配置モデル 慶應義塾大学 栗田 治</p> <p>19. 日本における高温多湿な気象条件が食料品の購買行動に与える影響の基礎的分析 慶應義塾大学 張 沢立</p>	<p>福田 峻(九州大学)</p> <p>28. 市区町村における希望出生率の推計値とその要因に関する一考察 東日本電信電話(株) 川崎 薫</p> <p>29. 地区特性を考慮した再生可能エネルギー熱供給整備のあり方に関する研究 千葉大学 上野 樹</p> <p>30. 関係人口との協働に対する住民意識の類型化と行政施策の方向性についての考察 大阪大学 関根 仁美</p>	<p>松川 寿也(長岡技術科学大学)</p> <p>39. 名古屋市内における木造住宅密集地域の買物実態と支援策に関する研究 大同大学 樋口 恵一</p> <p>40. 公民連携手法による公共施設と民間施設の一体的事業の実態の把握と地方中小都市における事業成立性に関する研究 芝浦工業大学 栗原 弘希</p> <p>41. ごちゃまぜを理念とする多機能型福祉拠点の利用実態と課題に関する研究 富士通株式会社 武田 侑哉</p> <p>42. 市民発意を促すまちづくりゲームを活用したエリアビジョン策定手法の有効性 国土技術政策総合研究所 田中 椋</p>	<p>榊原 弘之(山口大学)</p> <p>51. 地域住民の認識を通じたデマンド交通の価値に関する研究 岡山大学 坂本 柊人</p> <p>52. 小学生の登校時における家族の送迎行動の実態に関する研究 岡山大学 廣瀬 暖</p> <p>53. LRT 導入による子育て世帯の自動車送迎の変化に関する研究 福井大学 狩野 大地</p> <p>54. LRT の国家的な事業評価マニュアルの日英比較に関する研究 早稲田大学 大橋 由依</p>
12:10	昼 食				
13:20					

13:20

<p>渡部 典大 (北海道大学)</p> <p>9. 市街地更新を契機とした建築物の木造化のあり方に関する研究 千葉大学大学院 小林 裕人</p> <p>10. 公共空間におけるマーケットの運営傾向及び配置計画の特徴 日本大学 児玉 陽斗</p> <p>11. BID 制度の段階的活用に向けた「実験的 BID 制度」によるエリアマネジメント手法の提案 日本大学大学院 深津 壮</p>	<p>田村 将太 (広島大学)</p> <p>20. 街歩きガイドツアー中の写真撮影行動が参加者のシーン記憶・エピソード記憶に及ぼす影響 筑波大学 高橋 南織</p> <p>21. 歩行からみた通過量モデルの構築と都市空間の数理的評価 慶應義塾大学 田中 健一</p> <p>22. 建物用途規制の特例許可を受けて立地した施設の地域特性の類型化 国土交通省国土技術政策総合研究所 安藤 亮介</p> <p>23. 制限ボルツマンマシンを用いた day-to-day の動的相互作用の交通配分モデリング 東京大学 小川 大智</p>	<p>菊池 佐智子 ((公財)都市緑化機構)</p> <p>31. 企業の情報開示における企業緑地に関する第三者認証取得事実の取り扱いに関する研究 (株)三菱地所設計 植田 直樹</p> <p>32. 基礎自治体管理の都市公園における芝生修景評価の現状と課題 日本大学 永村 景子</p> <p>33. 実測値を用いた公園緑地の雨水浸透機能の評価に関する研究 日本工営株式会社 板谷 俊太郎</p> <p>34. 都市水辺空間としての調整池が持つ生活・文化機能に関する研究 豊橋技術科学大学 大久保 誓也</p>	<p>尹 莊植 (横浜国立大学)</p> <p>43. 地方都市の市街化調整区域に存在する DID の実態と区域区分制度上の課題に関する研究 長岡技術科学大学 丸岡 陽</p> <p>44. 人口フレーム枯渇下での工業フレームを用いた拡大工業地域における建築制限に関する研究 エヌシーイー株式会社 齋藤 岳</p> <p>45. 立地適正化計画策定都市での市街化調整区域地区計画制度の運用に関する研究 株式会社エックス都市研究所 松本 稜太郎</p> <p>46. 地域に開かれた福祉施設がケアラーに与える影響 東京大学大学院 篠原 百合</p>	<p>山岡 俊一 (豊田工業高等専門学校)</p> <p>55. 都市人口分布の津波避難安全性評価のためのメッシュベース最適津波避難モデル 東北大学 堀合 紳弥</p> <p>56. 防災施設「砂留」の保全活動と近隣住民の防災意識・行動との関連性に関する研究 岡山大学 渡邊 詩穂</p> <p>57. 阪神・淡路大震災における企業本社の移転モデルの提案 東京大学 赤松 京佳</p> <p>58. 都市計画的観点に基づく洪水浸水想定区域内人口増減の全国的な定量分析 北区 小林 孝</p>
---	---	--	---	---

14:50

国際都市政策に関する論文発表・都市計画報告会

16:20

シンポジウム 日本都市計画学会のビジョンを展望する

18:30

懇 親 会

第3日目 11月16日(日)

